

令和6年度 再編中学校（案）及び現行中学校の生徒数及び学級数の比較（令和元年5月1日現在 住民基本台帳より）

	再編校（1校）			白石中学校			福富中学校			有明中学校		
	生徒数	学級数		生徒数	学級数		生徒数	学級数		生徒数	学級数	
中1	191	5	(39×1、38×4)	82	3	(28×1、27×2)	48	2	(24×2)	61	2	(31×1、30×1)
中2	184	5	(37×4、36×1)	87	3	(29×3)	33	1		64	2	(32×2)
中3	164	5	(33×4、32×1)	65	2	(33×1、32×1)	38	1		61	2	(31×1、30×1)
特別支援学級	46	10		27	6		9	4		10	2	
通級指導教室		1			1			0			0	
合計	585	26		261	15		128	8		196	8	
メリット デメリット	・体育的及び文化的行事で、多様な場の設定が可能になり、生徒の活動意欲の向上、競い合う楽しさを実感できる行動ができる。 ・特別な支援や配慮を必要とする生徒が増加傾向にある中で、生徒間、保護者間の人間関係に配慮した学級編成が可能になる。 ・部活動の開設数が増える可能性が高い。 ・生徒会役員、生徒会行事、各行事での実行委員等で、生徒一人一人の出番が多く、生徒の負担が大きい。 ・体育大会や合唱コンクール、クラスマッチ等、盛り上がり欠ける。 ・部活動で他中学校との合同チームを編成する部が出てくる。 ・生徒数減少や社会体育への入会により、部活動入部者数が減少し、部活動運営に苦慮するケースが生じる。 ・教職員の指導力向上や資質向上の観点からも、各教科担任の複数配置が望ましいが、学級数が少ないことにより複数配置ができない。											

令和6年度 再編中学校（案）及び現行中学校の教職員配置人数見込（平成31年度市町立小中学校規模別職員基本配当基準表及び加配）

		再編校（25学級+通級）	白石中学校（14学級+通級）	福富中学校（8学級）	有明中学校（8学級）
基本配当 定数	校長	1	1	1	1
	教頭・教諭	38	22	14	14
	養護教諭	1	1	1	1
	事務職員	1	1	1	1
その他	加配	3	3	2	2
	事務長	1	1	0	0
	栄養教諭	1	1	0	0
合計		46	30	19	19
教科担任		一部の技能教科は1人、他は2～7人の配置	技能教科は1人、他は2～3人の配置	技能教科は1人、他はほぼ2人の配置	技能教科は1人、他はほぼ2人の配置
部活動開設可能数		20	12	8	8
メリット デメリット		・一部の技能教科を除いて、複数の教科担任となり、教員同士の切磋琢磨の機会ができる。 ・級外教員が多くなり、人的余裕ができるため、教員の出張研修への参加や不慮の事態への対応がしやすくなる。	・10教科に対し、すべてに教科担任の配置。 ・教職員間の連携共同など切磋琢磨の機会が減少する。	・10教科に対し、すべてに教科担任の配置。 ・教員数に余裕がなく、教育相談、生徒指導等で十分な対応が難しくなる。 ・教職員間の連携共同など切磋琢磨の機会が減少する。	

※教職員の基礎定数は、学校規模（学級数：特別支援学級含む）によって決定される。

※加配は、教職員基礎定数以外の配置職員。少人数指導やチーム・ティーチングなどの実施を目的として追加配置される国の施策。

※8学級以上の学校には、全ての教科担任（10教科：「技術・家庭」は技術と家庭を分ける）を配置できる。8学級に満たない学校は、一部の教科に非常勤講師を充てる。

※中学校10教科＝国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語

統合再編新中学校（案）の教職員配置シュミレーション

〈令和6年度学級数 26学級：内訳 普通学級15、特別支援学級10、通級指導教室1〉

1 職員配当数 46人

- (1) 25学級への基本配当定数・・・41人
- (2) 加配〔TT2、通級1〕・・・・・・3人
- (3) 事務長・・・・・・・・・・・・・・1人
- (4) 栄養教諭・・・・・・・・・・・・・・1人

【内訳】 校長1、事務長1、教頭1、**教諭40**、事務1、養護教諭1、栄養教諭1

2 普通学級教科別教員の配置（各学年5学級）

		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 ・家庭	英語	計
1学年	週時数①	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	25.6
	計（①×5）	20	15	20	15	6.5	6.5	15	10	20	128
2学年	週時数②	4	3	3	4	1	1	3	2	4	25
	計（②×5）	20	15	15	20	5	5	15	10	20	125
3学年	週時数③	3	4	4	4	1	1	3	1	4	25
	計（③×5）	15	20	20	20	5	5	15	5	20	125
週時数合計		55	50	55	55	16.5	16.5	45	25	60	378
担当教員数④		4	3	4	4	1	1	3	2	4	26

3 特別支援学級教科別教員の配置（各学年5学級）

		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 ・家庭	英語	計
特別 支援 学級 （学 級 数）	知的（3）	1	1	1	1	※技能教科は、普通学級と合同 指導の場合が多い。				1	5
	自・情（3）	1	1	1	1					1	5
	難聴（1）	1	0	1	0	※5教科についても、状況に よって普通学級との合同指導も ある。				1	3
	病弱（1）										
	弱視（1）										
	肢体（1）										
通級指導教室		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
担当教員数⑤		3	2	3	2	0	0	1	0	3	14

4 教科別教員配置数（④+⑤）

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 ・家庭	英語	計
担当教員数	7	5	7	6	1	1	4	2	7	40

平成30年度 県内中学校の学級数及び生徒数（学級数は、特別支援学級を含む）

校名		学級数	生徒数	部活動数	備考
佐賀市	城東中	19	565	16	令和 6 年度に 1 校に再編した場合、生徒数が585人となるため、同規模の中学校の部活動数を記載している。
	鍋島中	20	584	18	
	大和中	20	595	19	
鳥栖市	鳥栖西中	20	587	16	
鹿島市	鹿島西部中	19	539	18	
神埼市	神埼中	18	529	20	
白石町	白石中	13	266	16	
	福富中	6	121	10	
	有明中	8	180	12	

校名		学級数	生徒数	校名		学級数	生徒数
【国 立】				鳥栖市	基里中	9	172
佐賀市	佐賀大学附属中	12	459	伊万里市	伊万里中	17	493
【県 立】					国見中	13	278
佐賀市	致遠館中	9	358		滝野中	2	4
唐津市	唐津東中	9	355		山代中	6	112
鳥栖市	香楠中	9	358		啓成中	10	265
武雄市	武雄青陵中	9	361		東陵中	4	101
【市町立】					青嶺中	7	112
佐賀市	成章中	17	464	武雄市	武雄中	20	631
	城南中	16	470		川登中	5	116
	昭栄中	15	493		武雄北中	4	97
	城西中	14	352		山内中	8	209
	城北中	17	502		北方中	9	173
	金泉中	8	178	鹿島市	鹿島東部中	9	230
	芙蓉中	5	40	小城市	小城中	18	481
	諸富中	12	270		三日月中	18	392
	川副中	13	287		牛津中	13	274
	東与賀中	12	267	芦刈中	7	132	
	思斉中	8	213	嬉野市	塩田中	11	255
	松梅中	5	24		嬉野中	11	323
	富士中	3	31		大野原中	3	13
	北山中	4	23	吉田中	5	42	
	三瀬中	4	51	神埼市	千代田中	10	312
唐津市	唐津第一中	17	493	吉野ヶ里町	脊振中	4	27
	佐志中	8	179		三田川中	11	270
	唐津第五中	14	381	東脊振中	8	176	
	鏡中	13	359	基山町	基山中	15	380
	鬼塚中	11	285	上峰町	上峰中	13	271
	湊中	6	66	みやき町	中原中	10	212
	西唐津中	9	180		北茂安中	10	243
	高峰中	3	62		三根中	8	142
	浜玉中	13	317	有田町	有田中	11	290
	浜玉中 分校	3	7		西有田中	10	233
	巖木中	5	89	江北町	江北中	9	228
	相知中	8	194	太良町	多良中	8	144
	北波多中	5	118		大浦中	5	99
	肥前中	8	140	【私 立】			
	馬渡中	3	11	佐賀市	佐賀清和中	6	178
	加唐中	1	1		龍谷中	3	66
	海青中	10	229		弘学館中	11	383
	小川中	2	9		成穎中	9	231
	七山中	5	53	基山町	東明館中	6	112
	鳥栖市	鳥栖中	24	651	唐津市	早稲田佐賀中	9
田代中		22	676				

※「平成30年度 佐賀県の学校」より。部活動数は学校へ聞き取り。